

平成25年度精華町議会報告会（報告書）

1 開催日時・参加者等

日 時	会 場	参加者数（人）		
		男	女	計
10月19日（土）19時～20時55分	精華南中学校体育館	5	7	12
10月20日（日）14時～16時00分	光台コミュニティホール	10	0	10
10月20日（日）19時～21時10分	むくのきセンター	13	2	15
合 計		28	9	37

2 出席議員（役割分担表含）

	司会者	報 告 者				記録者	出席議員
		予算決算報告	総務教育報告	民生環境報告	建設産業報告		
精華南中学校体育館(10/19)	安宅	今方	松田	神田	塩井	山本	森元、森田、宮崎、岡本、佐々木、柚木、坪井、奥野、三原、内海、杉浦
精華町コミュニティホール(10/20)	佐々木	柚木	三原	森元	塩井	岡本	安宅、森田、宮崎、佐々木、坪井、松田、奥野、山本、神田、今方、杉浦
むくのきセンター (10/20)	奥野	森田	宮崎	内海	坪井	坪井宮崎	塩井、安宅、森元、岡本、佐々木、柚木、松田、山本、神田、三原、今方、杉浦

3 意見交換

(1)議会報告に対する意見・提言等

（精華南中学校）

Q 現在、乾谷・柘榴地区で広がっている有害鳥獣被害のことで、産業振興課で対応しているが実を結んでいない。現状を確認して対策をしていただきたい。

A イノシシ被害は、平成23年度は捕獲62頭、平成24年度は37頭捕獲している。予算は、160万円で府の補助金は80万円で対策している。議会は、猟銃免許取得の補助を求めている。

A 南稲地域の自衛隊基地からイノシシが柵から出ないように柵をした。自衛隊内では100頭以上捕獲した。東畑地区では罠を仕掛け相当数捕獲している。捕獲が追いつかない。東畑では、町からの現物支給の柵を設置している。また、電気柵を購入したり自衛策も講じている。

イノシシが乾谷地区へ流れてきた。今後、同じような防御策を取っていかなければならないと思っている。お互い地域間で情報交換し、産業振興課とも協力して対策して行くしかないのではと思う。議会としても今後議場の場で町に要求して行く。

A 委員会でもタヌキやヌートリア、アライグマなど広域的で多面的な方策の取り組みが必要と議論

になっている。充分に実態などを聞かせていただき議論していきたい。

Q くるりんバスの件で請願者として実現していただいた学研都市病院の件は、桜ヶ丘近辺の住民は大変喜んでいて。

ただ、朝の1便を外すと2便目からは受付に間に合わない。今後本数などの検討を進めていただきたい。

もう1点、中学校給食が実現するということで研修に行かれるが、群馬県の高崎市に決めた理由は。

A くるりんバスの件は、現状では増便は難しいが、課題として交通会議と言う検討する場所があるので、意見があったことを伝える。

A 中学校給食の管外研修の件は、全国で90%近く完全給食が行われている。高崎市は全国で珍しくセンター方式と自校方式を両方とも採用している。センター方式を自校方式に変更されていると実態もあるので両方のメリットデメリットを正確に把握したい。精華町の中学校にどんな方法が一番いいのか、総務教育常任委員会で判断できる材料にしたいと考えている。

Q 4回目で、「解りやすい議会活動」と言うことで少しずつ前進しているが、まだまだ工夫がいる。予算決算は説明がしにくいがもう少し工夫があるので。議会だよりは、良くできている。皆どれだけ読んでいるかがあると思う。ここへ持ってきて説明資料として使ったらどうか。解りやすい説明会に努力してほしい。

国保料のことですが1割近い無茶な値上げです。みんな堪えているはずですが。通知書は、他の料金、介護保険も一緒ですが、去年いくら今年いくら料金負担認識の客観化がいてと思っていた。議会をあげて行政側に追及して欲しい。電算化の時代の中でちょっとシステムを変えればできると推測する。自分らが町行政や議会にどうかかわっているのか解りやすくするという具体的に一つ一つの決定についてやはり工夫して欲しい。

A 最初に指摘された資料については、さらに改善を加えていく。

国保料の値上げについては、指摘があったことを行政に伝えておく。

Q ①先ほどから黒字、黒字と言われているが、基金を取り崩して収入にいれている。

実質的には、赤字である。もっとわかる書式、たとえば損益計算書などの資料が欲しい。

②国民健康保険料の値上げについて、調べに役場に行って収支計算書などを見せてほしいと言っても見せてもらえなかった。情報公開しているのではないのか。

③各種委員会で審議の内容が知りたくて議会事務局で記録を見せてもらったら、見出しがついていないので調べにくいしわからなかった。改善してほしい。

A ①資料は、前向きにわかりやすく工夫、検討する。

②行政に確認し話をつなぐ。

③議会としても委員会も録画して公開するよう検討し、HP上で検索できるシステムも考えている。記録はわかりやすく前向きに工夫していく。

(光台コミュニティホール)

Q ①年金を下げないでほしいと2年前に請願した。委員会に本人が行っているのに発言ができなかった。木津川市では発言できた。

②介護保険が高いので困っている。国保は口座振替になっているのに介護保険は年金から勝手に引かれている。個人の年金から勝手に引くことが許されない。国や府が腹立たしい。

③議会報告会はいいことだと思う。今後も続けてほしい。

A ①いくら本人でも、いきなり当日にこられても発言はできない。事前に申し込まれたら可能である。

②ルールがそうになっていると捉えている。

Q 資料のP 1 3 集中豪雨災害排水対策についてとあるが、改良工事をできたと解釈してよいのか。今年も非常に雨が降ったが改良工事を終えてすべて被害は治まったと思っているのか。

A 祝園駅周辺で被害が大きかったので改修工事を行った。祝園地区の前の雨対策は終わっていると認識している。今年の雨はそんなに大きな被害はなかったと聞いている。

Q 大きな被害はなかったではなく、雨が降ると心配になるのでできるだけ被害がないようにやってほしい。

A すべてが終わったわけではないので、今後も防災という観点から検討していく。

Q ①本日の議会報告会に対して、主催者側の人数より参加者が少ないのは、非常に残念に感じる。意義あるものにしていくためには、今後のやり方を考えてほしい。

②精華中学校の27年度竣工とか、国道163の拡幅工事、柘榴の下水など今後のスケジュールは。

③有害鳥獣、特にイノシシの被害がある。ここ数年国の補助があるが審査的に厳しいものがあってなかなか実らない。生駒市は今年から独自で条件はあるが補助を出しているのは、理解されていると思うが、町としての対策や対応はないのか。

A ①開催時期などを検討していきたい。

②精華中学校は、来年度着手し、平成27年度に竣工予定です。消防庁舎も平成27年度の予定である。

③乾谷も、被害がある。府の補助金と合わせて年間約160万の予算をつけて町として行っている。猟銃免許の申請費用を補助するとか現在協議中である。今後予算をとって議会としても対策していく考えである。府にも補助の申し入れはしている。

(光台コミュニティホール)

Q ①府は、かなり厳しい条件なのでなかなかできない。予算があっても出来なければ意味がない。荒廃地が増えていく。

②煤谷川は今年度で完成する。桜並木等があるが草刈り等管理はどうなるのか。

A ①たしかに条件は厳しい。国の施策なので期待に沿えるよう努力する。

②管理・維持については、行政から聞いてないので確認して報告する。

Q 土地改良区に噂では数億、数十億のお金を持っていると聞いているが、一般会計、議会とはノータッチなのか。使う権限はどこが持っているのか。

A 土地改良区は、精華町や議会とは、別法人なので権限が及ばない。

(むくのきセンター)

Q 3ページの固定資産税と都市計画税の減収の要因は？

A 固定資産税は開発地域の全ての法(のり)面を減免してほしいといわれ、カットされた。都市計画税も。旧村地域は都市計画税を支払っていない。

Q 固定資産税は一般(住宅)の土地の法(のり)面も減免されたのか？

A 固定資産税の減収の主な要因は、地価の下落に伴う固定資産税の評価のダウンがあった。都市計画税も連動するので下がったということである。

Q マリア幼稚園の運動会がむくのきセンターであった。3階に窓がたくさんあるのに閉まっていたので暑かった。多くの人が盛り上がっていたのに配慮が足りない。

A しっかりと申し入れする。

Q 法人町民税が、下がっているのはなぜか？

A 法人町民税の減収の要因は①誘致企業の経営が厳しく収益が上がっていないこと。これについては、これまで試作品のみの生産という規制があったので、一定程度、規制緩和して収益を上げさせる動きがある②既存の産業は斜陽化している。元気よく頑張ってもえらえるように地域循環型の経済の発展が必要である。

住民負担とサービスとのバランス

Q 負担と施策を両立させていくバランスがいる。介護保険料が府下で一番高い。サービスが充実していると言われるが、それでどんどん上げて負担を強いてよいのか。住民の信託を受けて議員になったのだから、勇気あるコントロールアピールをする必要があるのではないか。国においては、年金などは下げていく、消費税は上げる。しかるに企業は減税される。いったい国民健康保険の最高限度額はいくらまで上がるのか。議員は迫力がない。ピリッとしていない。理事者側は楽に答弁している。行政に対してピリッとした緊張した態度で働いていかなければ、町政は良くならないと思う。

A 「負担と施策(サービス)とのバランスを」という点では、議会として福祉の観点から京都式包括支援システムや認知症の対応などを検討している。ぜひサービスを利用して頂きたい。皆さんに納得していただけるように実態を調査していきたい。国保税が高い問題では、健康増進計画のなかで、医療費を抑える努力をしていく。委員会として調査していく。

新旧格差のないまちづくり

Q 13ページ⑤公共交通について。はなやぎ農園は、観光業として発展している。春の繁忙期は3万人から5万人が来町している。農業2団体は町行政に臨時バスを出してほしいという要望をしている。議会でも実態を調査して前向きにあたってほしい。

④山手幹線は8月に開通した。しかし、豪雨で勢いよく水が流れてきた。従来よりも水の流れが変わってきたので、排水方法について検討を願う。

A 要望はしっかり承る。

Q 「新旧格差のないまちづくり」の宣伝文句があったが、下粕地域をどうみているのか。生活するのに商店がないというのは大変なこと。粕田の駅に商店ができると言っていたができていない。下粕のコンビニもつぶれた。高齢者は振込みをどこでするのか。鉄砲水がでると、下流域はつらいが、排水ポンプの機能が低下している。早急に排水機能を改善してほしい。

A 実態を調査して対策を考えていく。

Q 粕田駅前整備について地域住民との間で合意ができていない。業務大綱ができれば進めていくのか。

A 行政にその旨を伝える。

Q 交通安全対策について。スクールヘルパーをしているが、亀岡や八幡の事故を通して安全対策を強く望む。

Q 煤谷川の下流の川原橋（滝の鼻地区と舟地区を結ぶ）がいつまでも着地していないが、どうするのか。

A 予算決算審議で聞いている。原因は地権者との合意ができていないことだ。「今年度中にはなんとかできる」と答弁を得ている。

水路問題

Q 狛田駅東の整備について、地元との説明会はやっているのか？町道の廃止は地元の同意を受けたのか。話し合いもない。水利組合の水路をなぜ取り上げるのか。地元は不安でならない。里地域の墓の周辺も車が停められない。このように旧村は無視されている。旧村にとってメリットのある開発になるように、しっかり納得できる話し合いを進めてほしい。また、先日の台風の時、下水処理場付近が冠水したので、内水対策の強化を。さらに、精北小の放課後児童クラブの建物が自分の田の横にあるので、日影になり、作物にも影響がある。しかし、何の挨拶もない。職員にもしっかり指導すべきだ。

A 議員も襟を正しながら行政に申し入れる。

Q 区画整理事業についても地元・各種団体と話し合いをするべきだ。しかし、話し合いの記録もない。水利組合の水路問題は禍根を残す事になる。事実確認し、追及してほしい。祝園西の水害問題の原因は究明してもらったのか。山手幹線の南進も一向に進まず、不便をきたしている。詳しい経過報告を。

A 祝園西はグレーチングを入れて排水しやすいように改善した。

Q 排水のルートが違う。四ヶ所が直角に曲がっていることが問題。議会で追及を。

A 勾配もきつくして、四ヶ所のルートも変えるように求めていく。

(2)テーマ別意見・提言等

①学校給食と食育について

Q 中学校給食と暑さ対策のテーマはどう言う理由から選定したのか。

A この間、議会で決議したのが学校給食とエアコン設置であった。それはそれだけ皆さんのご要望、要求がたくさんあったので全会一致で議決をしている。

今後、私たちが議会決議をいかに進めて行くためにはやはり皆さんから色々な意見を聞き、ふたつ一緒にやらなければいけないのか、あるいは、どちらかに重点を置いてやるべきなのか参考にし、この2点をまとめて挙げた。

Q どちらかをどうしたらいいのか私たちに聞いているわけではないのか。

A そうです。

Q 議員が、町民の意見を真剣に聞いて給食についても、エアコンについても、多分議決をされたと思うが、その決議事項の重要性は議員の皆さんが一番感じていると思うが、どちらもやってほしいというのが町民の意見である。エアコンに関して、具体的にどれくらいかかるか、議員の中で把握されているのか。

A 行政の説明の予算は、エアコンは何億円と言う大きな予算だったと思う。本当にそれだけの額が必要なのかということをやはり個人的にも調べている。一教室あたり何十万とかの話である。

それは、まだまだ詳細を練っていく必要がある。

学校給食がいまセンター方式で六億五千万、町は必要だと言っている。まだ、内容について、詳細に検討していない。いいものを早く安くという観点でやっていく必要があると思う。私たちも勉強をしていきたい。

Q 議会として、議員さんとして委員会としてもですが、具体的数字は調査されていないのならば、ぜひそれを調べていただきたい。議員さんにしかできない調査の仕方があると思う。それを私たちに教えてもらいたい。ぜひお願いしたい。

もうひとつ、議長が「陳情に行こうか」と言っていたが、議員にしかできない動き方、国に対しての働き方、給食事業は国営化すべきと言っている人がおられると言うことで、支援を訴えてもらいたい。

A 総務教育常任委員会において、昨年に教育委員会で食のあり方懇談会5回にわたって開かれて、その結果を踏まえ、3月議会で精華町として基本的な方針が総務教育常任委員会に示された。

それについても、それぞれの立場からそれぞれの意見が出された。次の議会で、給食についての検討委員会が設けられている。逐一、しっかりと説明を求めて聞き其々の委員がそれぞれの立場で意見を言うていくということが、今行われている。

先ほど、高崎市になんで行くんや遠いのにとの話があった。本当に子供たちにとって安心できて良くて地域経済にも貢献できるような給食と言うことを、委員会としても真剣に議論していきたい。

はっきり結論を出す努力をしていきたい。

A 議員としては色々な町民の意見を吸い上げると言っていることはわかりますが、議会としては、どちらの方向へまとまっていこうと言うのが一番大事だと思っている。

国に対しては、4月から政務活動費で国に陳情・要望は使えるようになった。これからは各党派でやってもらえると思っている。文科省にも、地元国会議員を通じてやっていきたいなと私も思っている。

Q 陳情はまだ行っていないと言うことと、反対がある中で議員たちが決めたことを、勿論給食をやるという方針を出しています、早期実施が入ったことも採択されています。いろんな意見を聞いていると思うので、そこを吸い上げて行動していただきたいと思う。

A 早期実現はおっしゃる通りです。それを実現していきたいと思う。

もうひとつは、なかなか国へは行けないのです。ご理解いただきたい。

Q 3月の採択それ以前にも全会一致の議決が二回行われると言うことは大変異例ではないかと思う。それでもなかなか出来ない。明確な説明が頂けないとか住民としても大変もどかしく思っている。そういったところは、議会はこういった印象であるのか。

A 某氏の陳情処理は、委員会でも非常に悩んだ。先に議決しているのです。それのご理解だけお願いしたい。

Q 議員の方が力を合わせて議決してくださったから、そこで行政の方が動いてくださるのじゃないかと思うのですが、議会とはそういうものではないのか。

A 陳情とその前に決議があることで、実施を求めて行きたいと一致した見解である。出来ることは、やってきているという実感は持っている。形になって行政を動かさなかったというのは、それなりに行政にも理由があるかと思うが、そこをどうかして行かんと、思っている。

反対の意見も出ましたが考え方としては議長が先頭に立って、我々、議員が実現のために動いていく、これは努力しなければならないと理解している。

今、早く態度を決めないといけない時期に来ている。精華中学校は、27年度に完成していますと、26年度に設計予算を組んで工事にかからないと間に合わない。それを今基本設計の中身を見ているとセンター方式の配膳室、それを建てられるとセンター方式になるということを認めたことになる。その辺をしっかりと意識を持って進めていかなければならないとそのためにも今回、高崎市を選んだということである。事前の質問書にも、コスト面とかセンター方式、自校方式のメリット、デメリットもたくさん質問している。その辺をしっかりと学んできたいと思っている。

Q その費用がなんとなく高いイメージを私たちは聞かされている。お金のない中で夢のような給食センターを作ろうと言うことは私たちの本意で求めているものではない。出来るところからやっていただければと思っているので、それと色々な補助金もあると思うがそれも私たちの税金である。少しでも、削減していただき有効に使っていただければと住民としての願いです。よろしくお願いします。

Q 中学校給食の問題は、テーマとしては前からである。とっくに早くやってしまわなアカンのではないのか。「切羽詰っている」のその声をどう区別してとらえると言う問題があるが、町の住民の意志、全体の意志として議会も含め捉えて、精中の完成27年その後の説明があったが絵も描かれていない中で、自校方式、センター方式と決めてないと出来ないという問題ではない。方法はいくらでもあると思う。早くやるということから取り掛からないとこれは時代遅れですよ。町財政の話がありましたが、だいたい健全化の方向に向かっている訳でしょう。今全体にそれくらいのゆとりは出せる実情です。

エアコンが先か、給食が先かの問題の話ではないんですよ。そういう選択でなくして、とにかく給食を早くやる。エアコンもこんな気候状況の中ですから必要により早くや同時に手を打たなければならぬのでは、当たり前の話である。

両方ともやるということではないのか。

A その通りで我々もそれを目指したいと思っている。

Q ①中学校給食と暑さ対策は別問題ですか。わかりにくい。

②親が楽できるから中学校給食は、喜んでもらえると思う。それはいいのですが税金を給食にあてる理由は。もっと言えば、年金生活者や中学生がいない人の税金を中学生の給食に充てられるのか。

A ①給食と暑さ対策は、別問題です。

②食材などの費用は、保護者負担であるが給食を作る施設、人件費等は町が負担する。これが現在の学校の会計区分になっている。現在では、食育や少子化対策の一環として進めている。ただお金の問題ではない。

Q 中学生は家庭環境にもよるが好みであるとか個性、人権が尊重されているので給食の形態に問題があると考え。一番理想的なのは、カフェテリア方式だと思う。一般の給食だと食べ残しなどが心配である。生徒の希望を取り入れないと失敗するのではないか。

A ご意見は、ありがたくいただく。教育委員会では中学校は、センター方式でと言っているがまだ決まっていない。子供のニーズがいいか保護者のニーズがいいかになってくる。教育委員会が生徒にアンケート調査を実施した結果は、約8割が弁当がいい、保護者はやはり給食がいいとなっている。結果も踏まえてまだまだ議論を重ねていかなければならないので持ち帰って検討する。

Q 中学校給食に反対している。中学校の教師をしていたが、配食に時間がかかる。放課後の時間が短くなる。委員会活動にも支障がある。教師の負担が増える。残食が多かった。給食が原因でいじ

めにもつながったことがある。買い食いにもつながる。もうセンター方式で決まってしまったのか。

A 町では、3中学校分をセンター方式で実施の方針である。しかし、議会では、給食の方式・方法について検討中である。

(意見) ①27年度以降だとやることが決まっているのに非常に遅い。センター方式を取られようですが、食中毒が起こるとすべてに広がるが自校方式だと防げるのではないか。

②暑さ対策ですが、未だにクーラーもない教室で勉強させているのが非常に時代遅れだ。早急に予算を割いて対策してほしい。

②高齢者福祉について

(精華南中学校)

Q 高齢者福祉についても、今、精華町では子どもが大変増えて理想的な形になってきている。

日々つづけることが、やはり高齢者を支えることとなると思う。子育て支援をしていただくことが間接的ではあるが、高齢者を支えさせていただけるような社会。総合的な意味合いで社会の全体の位置づけとして子育て支援をして、結果、高齢者の方々にも利益になるような町になるようにと思っている。

桜が丘の地区だけに限ると皆さんは新規住宅街ですので比較的若い世代で入ってこれ年をとられてしまって、今、スーパーが閉まってしまって今後が心配される。

買物ボランティアのようなものを提案しようと思ったことがあるが、どこかでこのアイデアを受けてもらえる機会があればお願いしたいと思う。

A 確実に高齢化社会に精華町も向かっていますのでそう云ったことも公共交通のあり方もこれからも真剣に考えていかないとあかんことと違うかと個人的にそういう風に思う。

スーパーが無くなって買物難民が増えていく、私たちも早くなんとかしなければと思っている。やはり、くるりんバスも利用者がたくさん利用していただくことが前提で利用者が少なかったらやはり元に戻すということもあり得ることも考えていただいて、地元のスーパーもやはり一番には地元の方が使っていくという形でなければ、また、同じく業者さんが来ても同じことになるのではないかとと思っている。桜ヶ丘地域に大きなスーパーが無いことは問題と思っています。

Q 消費者の利用が第一と言うことでしょう。そういうことを分かった上で申し上げたということです。

A 議会の方も、皆さんの生活実態にかかわる色々な問題として将来を見据えたうえで真剣にしっかりと議論していきたいと思う。

Q 高齢者の福祉について、中学校給食というので給食事業を考えるのではなく、じいちゃん、ばあちゃんがすごく元気で過ごされるのがものすごく必要になってきています。食べ物はずごく大事なんです。食の関わり方はどうなっているのかも検証されることが必要になると思う。高齢者の方の健康増進ができると、本当に信じています。

新興地域と村落地域の交流とかしやすい環境作りがすごく大事だと思っている、働きかけられないかと考えているのですが、議員の方でもそう云ったことを考えてい頂けないかと思っている。

A 町行政は、食育のことを含め健康増進365を作られた。副町長を先頭に議員も自らメタボが多い中で、長生きで頑張ってもらわないといけないと思っている。そこら辺を踏まえてよろしくお願

いします。

A 今、精華町のなかで高齢者が段々増えてきた。医療費が大幅に増えてきた。

行政は、結構縦割りです。有るのですがそれを取っ払って全ての部課で町の方の健康問題を考えましょうということで立ち上げられた委員会がある。議会としても様々な意見を寄せて行けたらと思っている。色々な意見を頂いていることもそのことが後押しになっているのかなと思っている。

(光台コミュニティホール)

Q ①光台4丁目に高齢者施設ができると聞いたのですが最近聞かないのでどうなったのか。

②保険制度がありながら介護保険から要介護1、2を外す。その人たちを市町村に丸投げすると報道されている。国に対して保険制度を維持してほしいと訴えてほしい。

A ②それは受け止めて検討する。

(意見) P5の5、7、13番これを踏まえて、先日、高齢者の認知症の方が鉄道の敷地内に入られてはねられたという事件があったが、裁判で鉄道会社が訴えて家族が見守ってなかったから賠償しなさいという話になった。家族は家族で一生懸命やっているのに見守っていけるのかと思う。今後、家族、地域、行政、各種団体などで見守っていくということが必要だと考える。家族に全部押し付けるのは酷だ。これから見守るシステムを構築してほしい。

Q 光台8丁目には、65歳以上が225人、約500世帯、老人会に75名、その内活動している人が約20名です。全国では老人の40%はスポーツクラブに通っていると言われている。介護保険にお世話にならないようにしよう。認知症にならないようにしようと今年から社協に進められて体操教室に取り組んでいる。参加者が少ない。町の保健婦さんも認知症にならないように取り組んでほしい。保険料の負担を減らすためにも健康でいる。健康が社会貢献になる。みんなが賛同してくれるように何かバックアップしてほしい。いい知恵がないか。

A 健康増進を目的に精華365運動を立ち上げました。今後、町民に広げていく予定です。

(むくのきセンター)

Q 介護・ディサービスセンターが他市町から入り込んでいる。今までおじいちゃんやおばあちゃんは家にいたのに、ディサービスで家から追い出されている。動けなくなったら介護施設に入所せざるをえないことを認識して地域福祉を充実してほしい。ディサービスは介護保険の草刈り場だ。

A 家から追い出しているようだが、介護予防の観点もある。寝たきりにならないようにリハビリに重点をおいて、介護度をあげないようにすることも大切。家族の負担軽減にもなる。ディサービスと施設介護の両方をバランス良く使ってほしい。

(意見)・97才の親がディサービスに行くことで元気になっている。私らにとってはありがたいことだと思っている。

・91才の母は毎日ディサービスで活力をもらっている。利用している側としてはありがたい。

③道路・交通網について

(光台コミュニティホール)

Q ①精華大通りの照明が非常に暗い。交差点だけが明るい。

②けいはんなホテルの前に水景施設があるが長年使用していないなら撤去してほしい邪魔になるし歩くのが危険だ。

A 現地調査し、府の施設なので行政に訴えたい。

Q 京都府に言いましたが、下にポンプがあつて故障している交換するのに費用がかなり高いと聞いている。レーザー光線の前だけ清掃活動をしている。今度は、水仙の花をトライアル的に植えていこうと考えている。またせいか祭りにかけて北稻の伝統的なかかし祭りのかかしを時計台の広場の前に立てて旧村の文化を新興住宅の人たち、特に若い人たちに見てもらおうというイベントを計画している。

コミュニティーセンターの前の道も交通量が増えてきた。歩道橋はあるが渡りづらいので信号を設置してほしいと強く要望する。

A 要望については、伝えていく。

(むくのきセンター)

Q 狛田駅の南側の東西を結ぶ町道（僧坊・前川線）が計画されているが、府道木津八幡線との交叉点が5差路以上になり、危険である。祝園の鉄道踏切付近の信号未設置個所が20年以上も放置され、大変だった。狛田のこの場所に信号機が設置されるのか、安全性を確保してほしい。

Q 府道の混雑の緩和のため、山手幹線への迂回路として、弾薬庫への引き込み線跡地を通る橋を煤谷川にかけたらどうか。

A 橋をかけるという件は議会でも要求している。しかし、府の許可がおりない。府道木津八幡線を改修する時に仮設の橋を作りたいと言っているが予定は定かではない。また、近所の住民からは車がいっぱい走るのは困るとの意見があるので調整が必要だ。

(意見)・狛田連合自治会からは、その橋をかけてほしいという要望を出している。

4 アンケートの集計結果

・アンケートの回答者数 30人（うち、男性23人、女性7人）

・アンケート回答者の年代、

30歳代	2人
40歳代	5人
60歳代	10人
70歳代	12人
80歳代	1人

	回覧	議会だより	議員・知人紹介	無記入
①参加のきっかけは	17人	7人	12人	4人
	よい	わるい	無記入	
②開催の時期は	26人	2人	2人	
③開催の時間帯は	29人	0人	1人	

④報告会の内容は	19人	6人	5人
⑤議会報告会の資料は	21人	4人	5人
	評価する	どちらともいえない	評価しない
⑥議会報告会の評価は	16人	10人	1人
			無記入

(1)設問に対する意見

設問②「開催の時期は」

- ・秋は色々行事があるので、少し時期を考えるべき。
- ・農繁期であり時期が悪い。

設問③「開催の時間帯は」

- ・時間帯が短い。
- ・仕方ない。

設問④「報告会の内容は」

- ・もっと工夫を。
- ・もう少し詳しく説明をしてほしい。
- ・予算に対し、議会としてどのように働きかけたのか。
議員の働きが見えない。行政報告ではないので、その辺を詳しく教えてほしい。
- ・分かりにくい。
- ・一人の意見に集中させすぎる。
- ・回答があいまい。
- ・詳細に報告されていない。
- ・通り一遍すぎる。

設問⑤「議会報告会の資料は」

- ・さらに詳しく。
- ・予算はよくわからない。
- ・事前にホームページに掲載を。
- ・少し内容を充実させてほしい。
- ・2部のレジュメ内容悪い。

(2)意見交換のテーマで、お気づきになった点、発言できなかった事項など

①中学校給食と暑さ対策について

- ・男性の方からもご意見が有りましたとおり、給食とエアコン是非両方して頂く事が有難いです。どうか、2回決議したという現実を受け止め早期実現を目指して頂きたいと存じます。
- ・早急に進める方策を是非立案審議ください。
- ・両方について、重要課題だと思うので、早期に進めてほしい。
いか。住民がもっと参加して協力できるようにすべきです。
- ・物事の決定には優先順位が当然ある。給食がはたして重要な施策とは思わない。人命にかかわる耐震工事の早期着工が優先されるべき。

- ・親の責任放棄？。
- ・少子高齢化対策、地産地消も含め、社会全体にメリットが出る給食として、具体化していただきたい。予算の見直しもよろしくお願いします。
- ・給食については、根本的な考え方を検討するのと、アンケートの結果を分析してやってほしい。
- ・センター方式は衛生面に注意が必要と考えるので、自校方式も再考。
- ・1日も早く進めてほしいです。
- ・親と子のキズナをつなぐ有効な手段が弁当だと考えているので反対。冷房については賛成。
- ・中学生の給食は不要。
- ・いまごろ。
- ・途中申し上げたようにレジュメをお願いします。

②高齢者福祉について

- ・国の社会保障改革プログラムの影響から論戦。
- ・予算の見直しもよろしく。
- ・国保税や介護保険これ以上あげないで欲しい。
年金も年々引き上げられます。ダブルパンチになります。
- ・高齢者負担減。
- ・本町では、介護サービスは良いと思っている。
- ・デイサービスの充実。町立の介護施設を建ててほしい。
- ・いろいろ意見聞けて良かったです。

③道路・交通網について

- ・精華大通りの奈良県側の進み具合について（予定）
- ・某事業所が倒産した。あとの処理（東畑地区）が未だ残ったまま、今後の府（町）の対応を伺いたい。
- ・山幹周辺に伴う周辺農免道路整備等の改善。
- ・安心、安全の町づくり狛田駅中周辺には歩道がなくどこが安全か？。一日も早く進めて車と歩道を別に考えるべきです。
- ・けいはんな線の精華町への延伸をぜひやってほしい。
- ・旧軍用道路の引き込み線の利用で周辺の交通事情が良い方になる。
- ・いろいろな質問が聞けて良かったです。

(3)議会報告会の内容についての意見

- ・出席者の参加が少なすぎます。
- ・今回は活発な意見交換ができ、大変ありがとうございました。今後もより一層、住民意見を行政に届けていただき、住民への説明も詳しくお願いします。
- ・参加者を増やす方法を今後、考える必要がある。
- ・決算書について、勘定科目が独特のため、理解しにくい。わかりやすい決算書の作成してほしい。

- ・観光事業の抜本的支持。
- ・こういう説明会（報告会）はどうしても議員に対し厳しい意見になるので内容についても、少し考えてみてはどうですか？。事業等については、行政が行っているので具体的な内容については、答えられないと思う。
- ・いろんな意見が出ました。言葉の力が如何ほどか試されると思います。個人の意見がどれほど力があるのか。各自治会からの文書を出す方が行政を動かすのではないか。がんばってください。行政側を動かしてほしい。
- ・発言者の一部に発言が長い。時間を指示するように。

(4)町議会全般についての意見

- ・今後とも行政と連携されつつも、行政のチェック機能を是非果たしてください。
楽しみにしています。ご尽力感謝します。
- ・行政を動かせる力を持っていただきたい。
- ・初参加、町行政に関心を持つようになる一歩となりました。
広報について、さらに研修、検討を求めます。特に高齢者は情報不足です。自治会の活用検討。（活動→福祉、青少年活動、向こう3軒両隣）
- ・議会報告をもう少し詳しく。
- ・ご苦労様です。頑張ってください。
- ・粕田駅前、駅中を1日も早く安全な町づくり。商業地を過疎にしないで、南北車が往路できる道路を考えるべきです。歩道のない駅前は粕田だけです。進捗状況を議員さんは地域で説明するべきだと思います。
- ・議会と理事者（行政）双方の立場を認識し、緊張をもった議論や行政の監視機能を高く維持されたい。
・全体として住民の方の考え方や目のつけどころ etc、よくわかって大変参考になりました。
宜よろしく願います。